

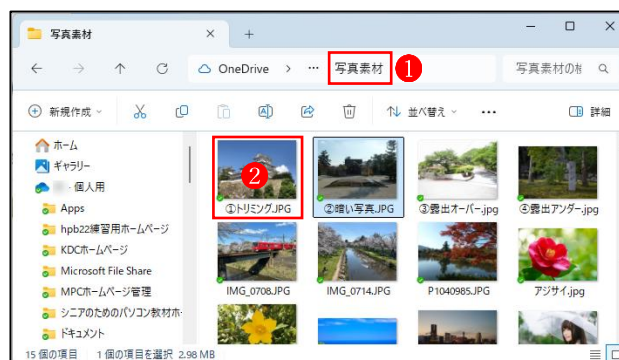
新フォトの使い方（編集編）

フォトアプリには、パソコン内のあちこちのフォルダーに保存されている画像を総合的に管理し、検索して表示するほかに、簡単な編集処理を行う機能も搭載されています。

ここでは、主に画像（写真）を編集する機能について解説します。

1 画像（写真）をフォトアプリで開く

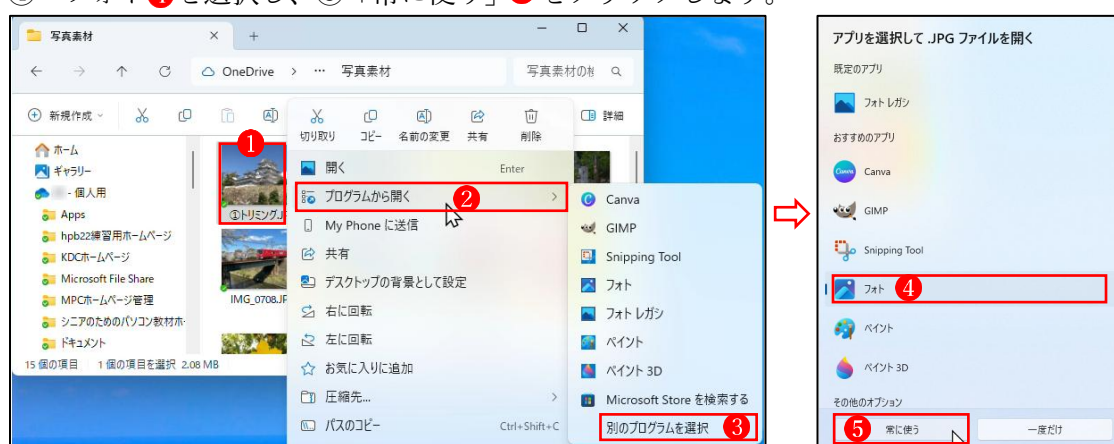
- ① 編集したい写真の保存されているフォルダー①を開き、写真を選択できる状態にしておきます。
- ② 写真②をダブルクリックします。



画像を開くアプリはフォトが「既定のアプリ」になっているので、ダブルクリックすると自動的にフォトで開きます。

しかし、もし、フォトアプリで開かずに別のアプリが起動する場合は、次の手順を実行して、画像（写真）をダブルクリックすると自動的にフォトで開くように設定しましょう。

- ① フォルダ内の写真①の上で右クリックします。
- ② 右クリックメニューから「プログラムから開く」②にマウスポインターを合わせます。
- ③ サブメニューから「別のプログラムを選択」③をクリックします。
- ④ フォト④を選択し、⑤「常に使う」⑤をクリックします。



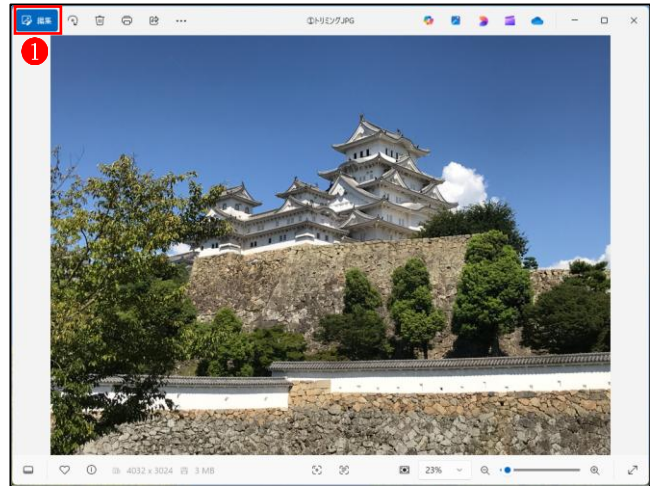
- ⑤ これで、画像（写真）を開く「既定のアプリ」に「フォト」が設定されるので、次回からは編集したい写真をダブルクリックすると、自動的にフォトで開くようになります。

- ③ 編集したい写真をダブルクリックすると、フォトアプリが起動して写真が開きます。

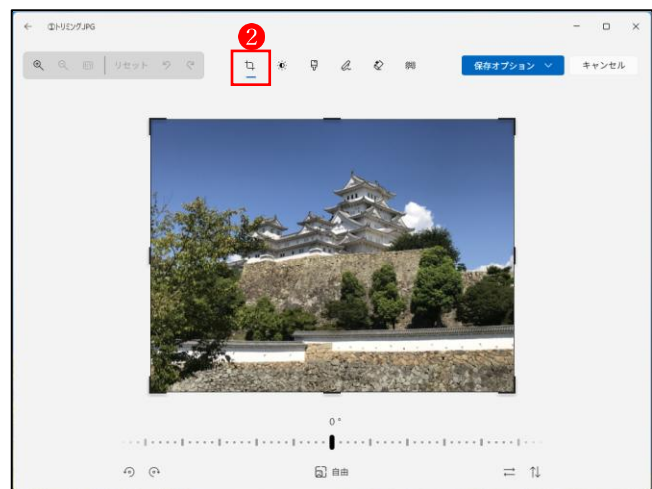
2 編集画面の説明

(1) 編集画面

- ① 写真をフォトで開くと、自動的に「画像の編集」モードになっています。
- ② 「画像の編集」アイコン①をクリックします。



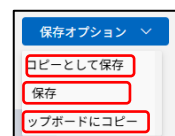
- ③ 画像の編集画面に変わり、「トリミング」のアイコン②が選択されています。



(2) 編集画面のアイコンの説明



- ① 拡大・縮小 ①
画像の拡大や縮小ができます。
- ② リセット ②
画像で実行したすべての編集をリセットします。
- ③ 元に戻す・やり直す ③
実行した操作を1段階ずつ「元に戻す」「やり直す」ことができます。
- ④ 各種編集ツール ④
画像の編集に使うツールが並んでいます。(この後で説明します。)
- ⑤ 保存オプション ⑤
編集済みの画像を「コピーとして保存」または「保存（上書き保存）」します。クリップボードにコピーすることもできます。
- ⑥ キャンセル ⑥
キャンセルをクリックすると、編集画面から元の画面に戻ります。



3 画像（写真）の編集

(1) トリミング

① トリミング範囲を自由に設定

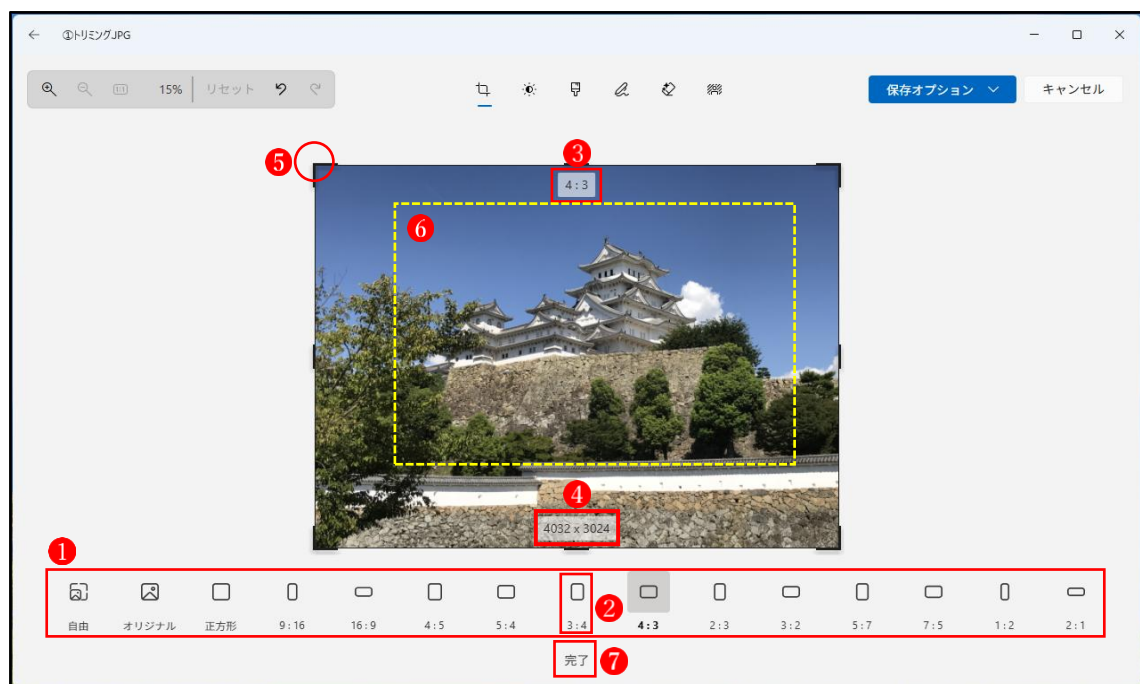
最初の編集画面では、トリミング範囲を設定するアイコンが「自由」①になっています。このモードでは、画像の8か所にあるハンドル②を動かして、トリミング範囲を自由に設定することができます。



② 画像の縦横の比率を決めてトリミングする

- ・上図で「自由」と表示されているアイコンをクリックすると、トリミングする「縦横の比率」を選択できる表示①に変わります。

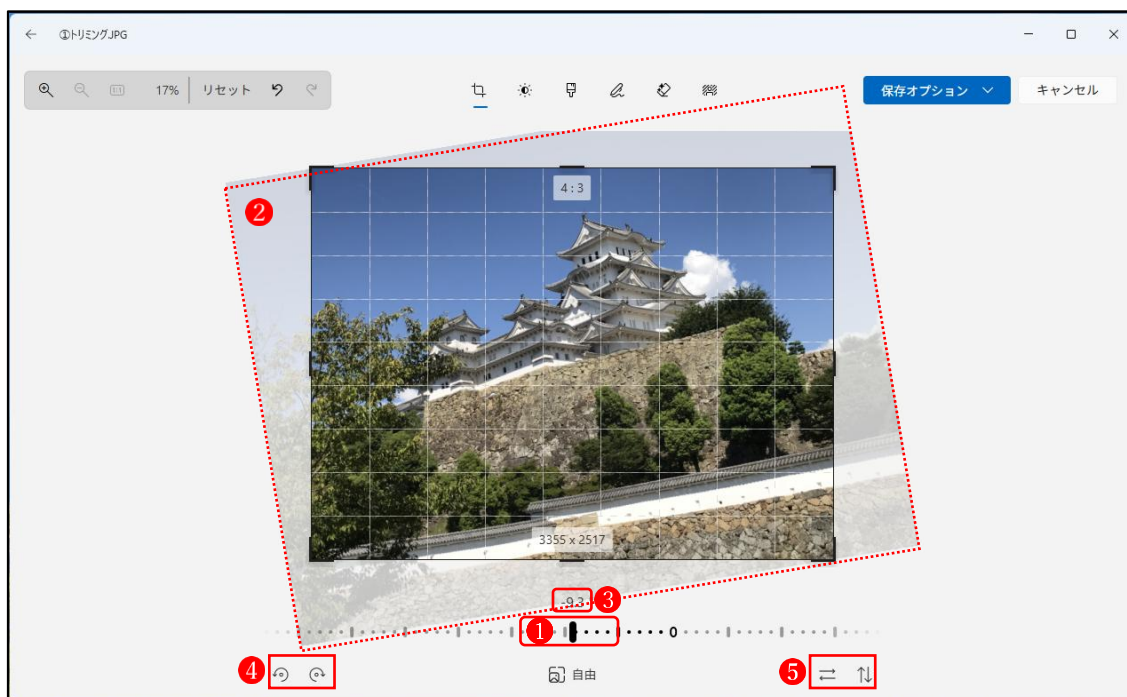
ここで、トリミングの縦横比を選択（ここでは「4:3」を選択②）すると、画像の上に「トリミングの縦横比」③と「画像のサイズ」④が表示されます。



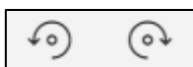
- ・8個のハンドル⑤のいずれかをドラッグしてトリミングする範囲⑥を選択します。
 - ・「完了」⑦をクリックします。これで選択した範囲が切り抜かれます。
- なお、画像をマウスで直接つかんで切り抜き位置を調整することもできます。

③ 画像の回転と反転

- ・ ①の slider ①を左右にドラッグすることにより画像の角度②を自由に変えることができます。角度も表示③されます。

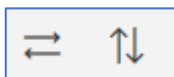


- ・ 画像を 90 度回転する ④



画像を反時計回りと時計回りに 90 度回転することができます。

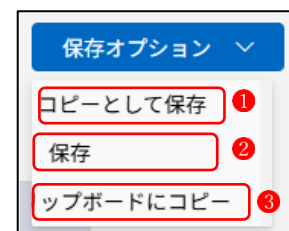
- ・ 画像を反転する ⑤



画像を水平方向と垂直方向に反転することができます。

④ 編集した画像の保存

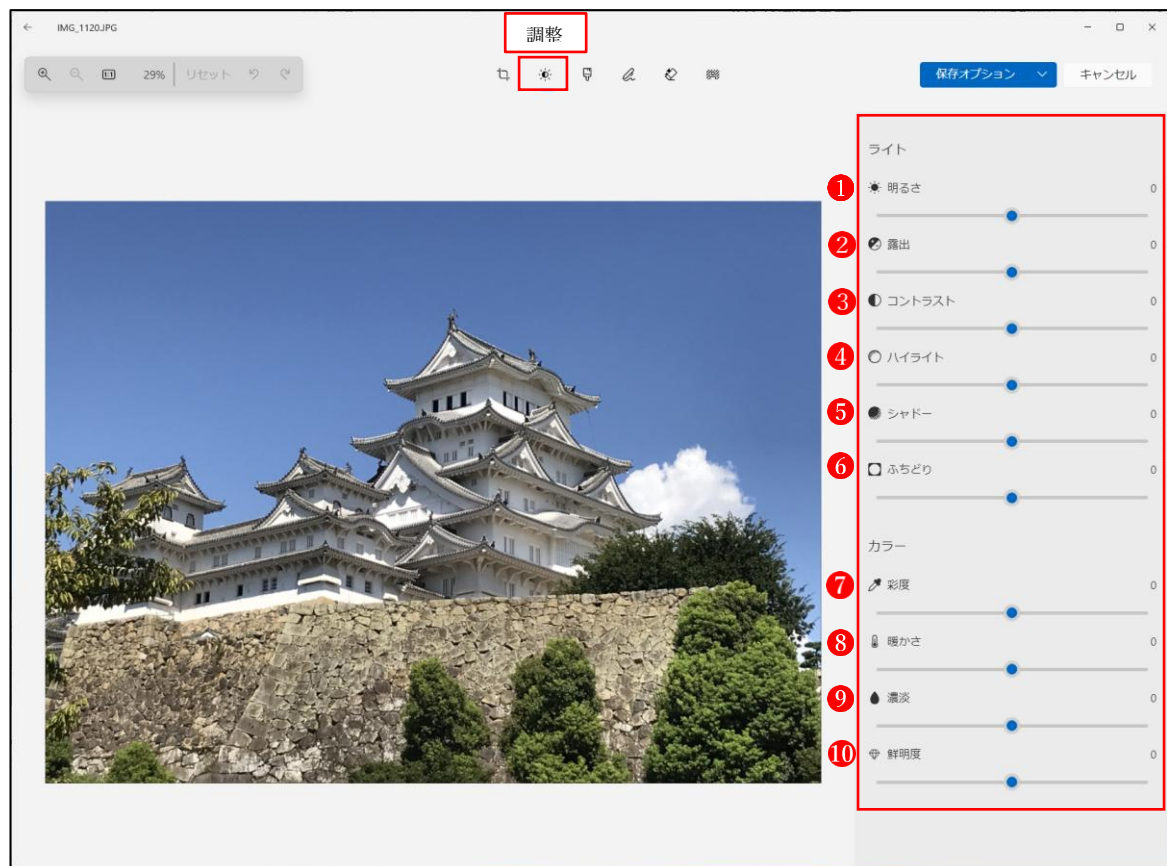
- ・ 「コピーとして保存」①は、編集した画像を保存先のフォルダーを指定して新たな画像ファイルとして保存します。
- ・ 「保存」②は、元の画像ファイルを上書き保存します。
- ・ 「クリップボードにコピー」③は、画像をクリップボードにコピーして、他の場所に貼り付けることができます。



(2) 調整

「調整」の画面です。

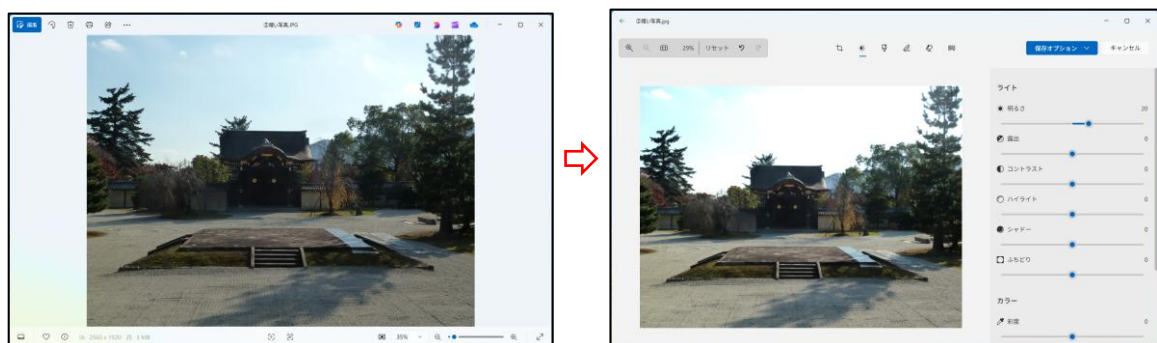
右側にあるのが画像を調整できる項目（メニュー）です。



【各調整メニューの説明】

①「明るさ」

明るさを「高」にするとハイライト部分が広がり、「低」にするとシャドウ部分が広がります。この機能を使えば、例えば、天気が曇った日に撮った暗めの写真を、晴れた日に撮った写真のように加工することができます。

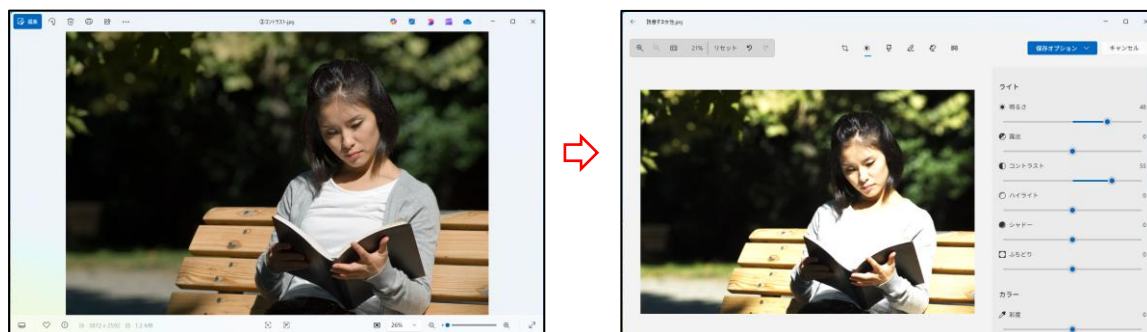


② 「露出」

「露出」とは、写真をフィルムから印画紙に焼き付けるときに照射する光の量のことです。露出を「高」にすると、色みを残しながら全体的に明るくすることができ、露出を「低」にすると、色みを残しながら全体的に暗くすることができます。

③ 「コントラスト」

「コントラスト」では、画像の「明るい部分」と「暗い部分」の「明るさの差」を調整できます。コントラスト「高」にするとくっきりメリハリが効いた写真になり、コントラストを「低」にするとやわらかく落ち着いた写真になります。



④ 「ハイライト」

「ハイライト」では、写真の中の明るい部分だけを暗くすることができます。「写真全体ではなく、明るい部分だけを暗くしたい」というような場合に便利な機能です。

⑤ 「シャドー」

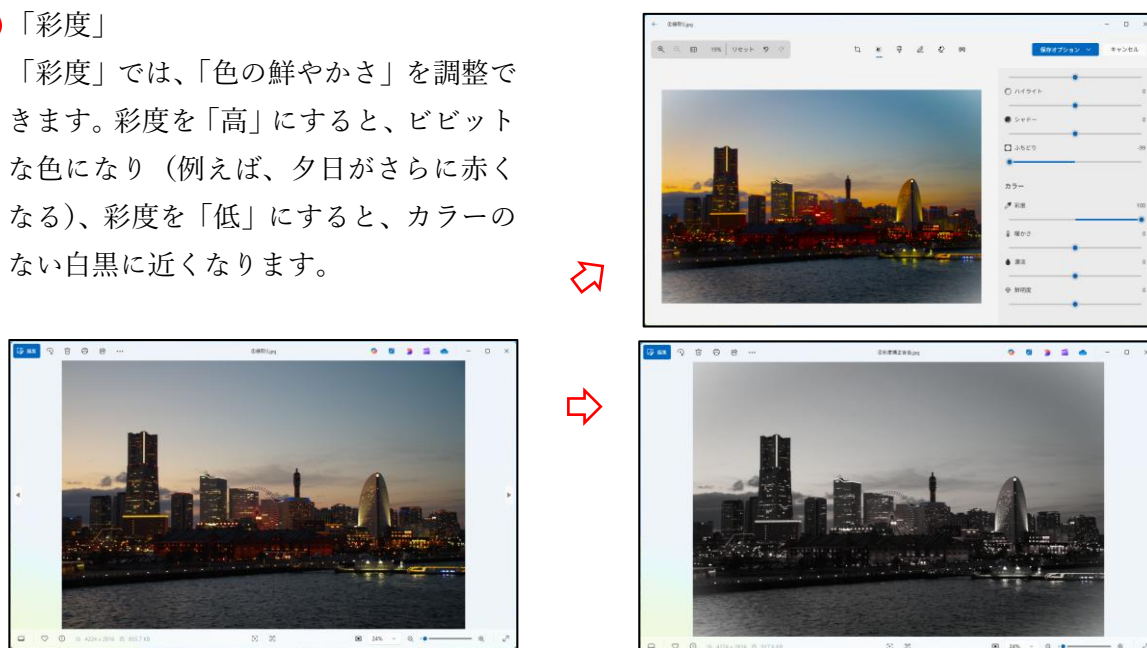
「シャドー」では、写真の中の暗い部分だけを明るくすることができます。「写真全体ではなく、暗い部分だけを明るくしたい」というような場合に便利な機能です。

⑥ 「ふちどり」

「ふちどり」では、写真の周辺部の光量を調整することができます。ふちどりを「高」にすると、写真の周辺部に黒っぽくふちどりを付けることができ、低」にすると、周辺部を白っぽく縁取りすることができます。

⑦ 「彩度」

「彩度」では、「色の鮮やかさ」を調整できます。彩度を「高」にすると、ビビッドな色になり（例えば、夕日がさらに赤くなる）、彩度を「低」にすると、カラーのない白黒に近くなります。



⑧ 「暖かさ（温かさ）」（★特に野菜の色などは際立ちます。）

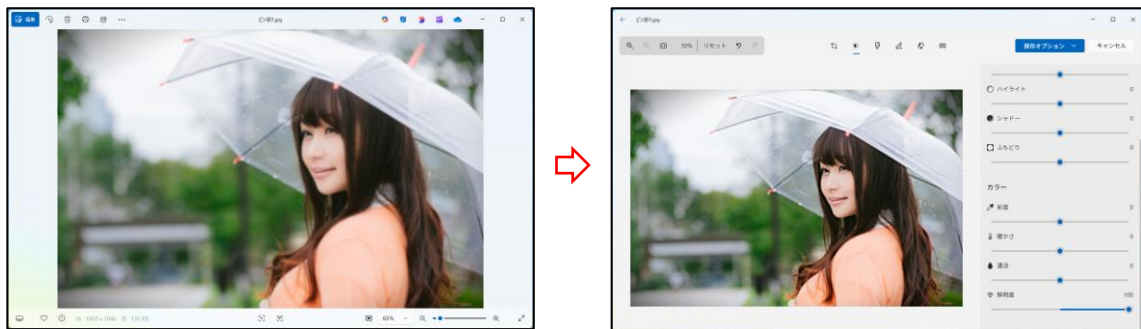
「温かさ」では、色温度を調整することができます。温かさを「高」にすると色を赤色系へ寄せることができ、「低」にすると青色系へ寄せることができます。

⑨ 「濃淡」（★特に野菜の色などは際立ちます。）

「濃淡」では、色の濃淡を調整することができます。濃淡を「高」にすると色を赤紫色系へ寄せることができ、「低」にすると緑色系へ寄せることができます。

⑩ 「鮮明度」

「鮮明度」では、写真全体のシャープさを調整して、鮮明にしたりぼんやりさせたりすることができます。（★ここでは、不鮮明な画像を鮮明化しました。）



(3) フィルター

フィルター機能とは、写真の色合いをモノクロやセピア風などに変更できる機能です。

フィルターの種類や強度を設定することで、少ない手順で写真全体の色合いを修正することができます。

① 「フィルター」の画面です。

- ・自動補正 ①
- ・フィルター ②
- ・フィルターの強さ ③



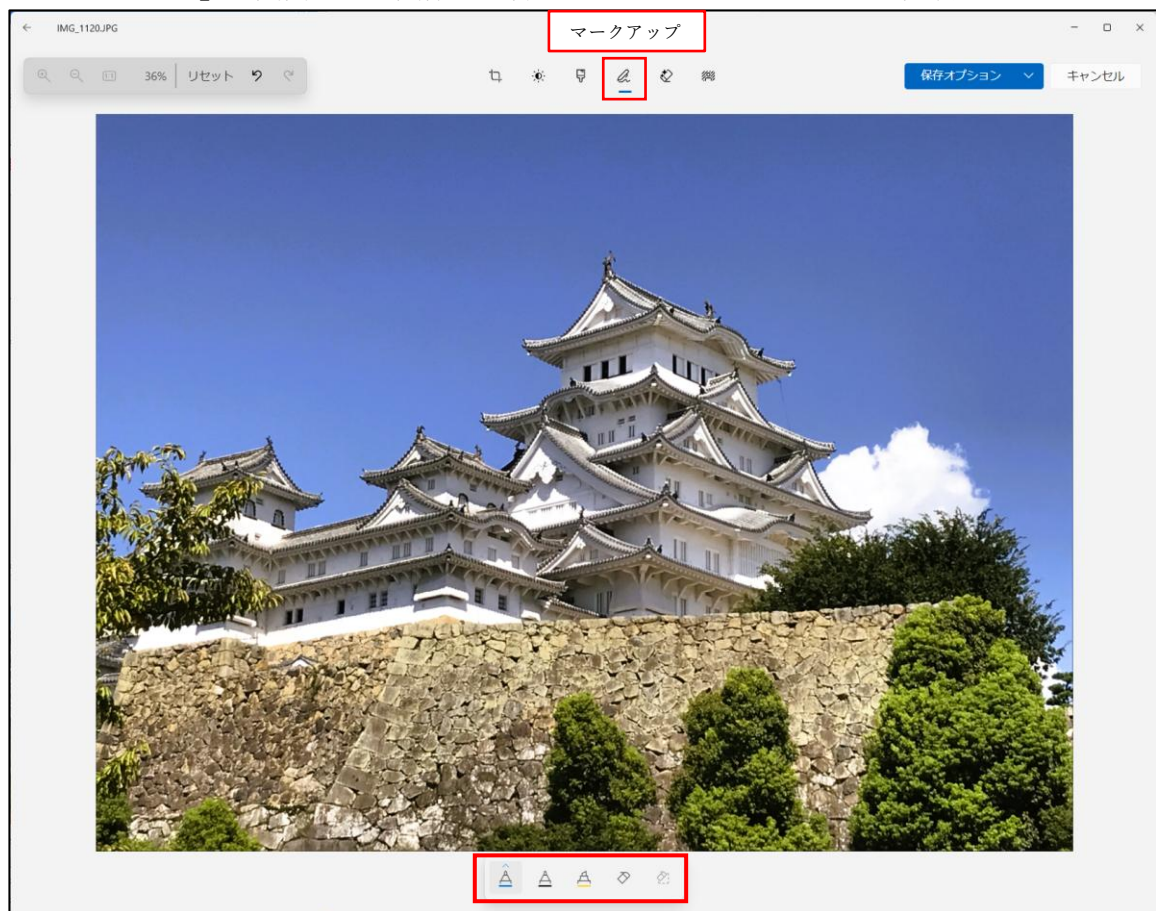
- ② いずれかのフィルターのサムネイル②をクリックすると、中央の画像がそのフィルターを適用した結果に変わります。
なお、適用したいフィルターのサムネイルをクリックすると、直下にフィルターの強さを調整できるスライダー「強さ(1～100)」③が現れるので、ここで適用するフィルターの強さを調整することができます。



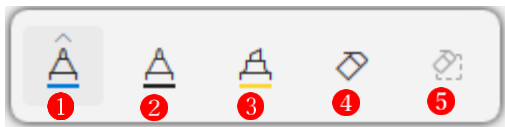
(4) マークアップ

「マークアップ」では、ペンを使って画像に文字やイラストを自由に追加することができます。

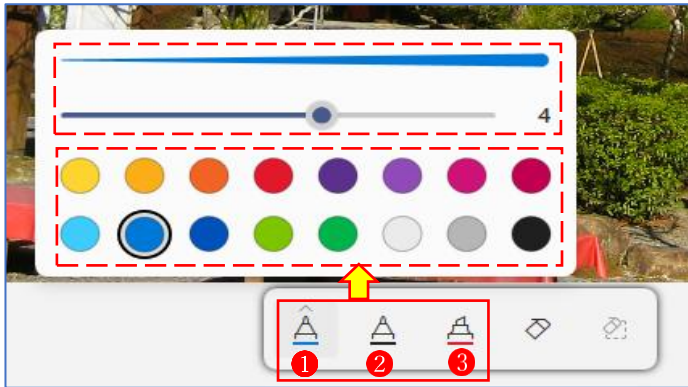
- ① 「マークアップ」の画面です。画像の一番下にあるのがマークアップの種類です。



- ② ペンを使って、画像に文字やイラストを自由に追加することができます。



「ペン1」①、「ペン2」②、「蛍光ペン」③は、ボタンをクリックすると、色の変更や太さの変更を行うことができます。

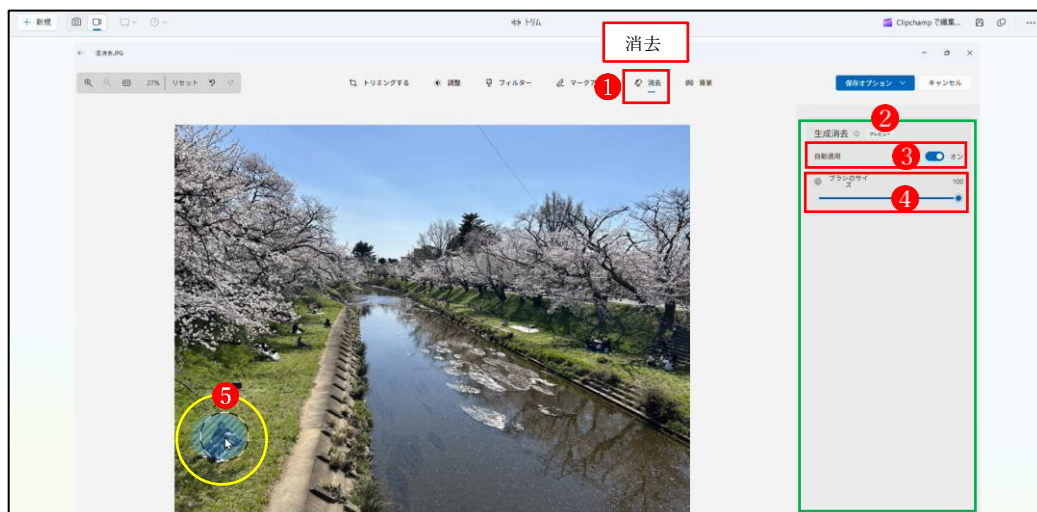


- ③ ペンを使って文字（黄色の点線枠内）を入れてみました。
描いた文字の一部を消すには「消しゴム」④で文字をなぞります。また、文字のすべてを一度に消すには「すべてクリアー」⑤をクリックします。

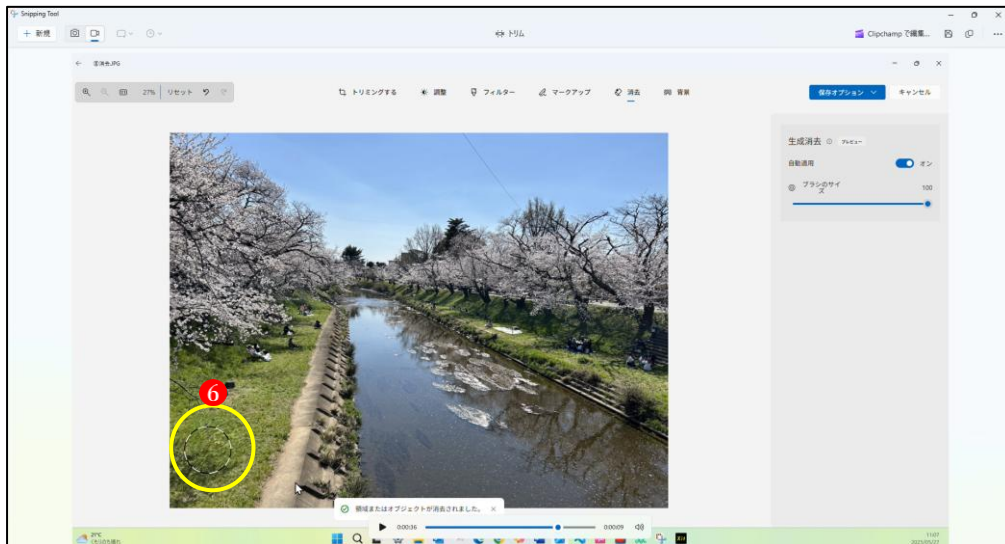


(5) 生成消去 (AI 処理)

画像の中の消したい部分をブラシで大まかになざると、AI が消したい部分の輪郭を自動で判断して消し去り、さらにその消し去った跡を回りの背景で埋めてくれる機能です。

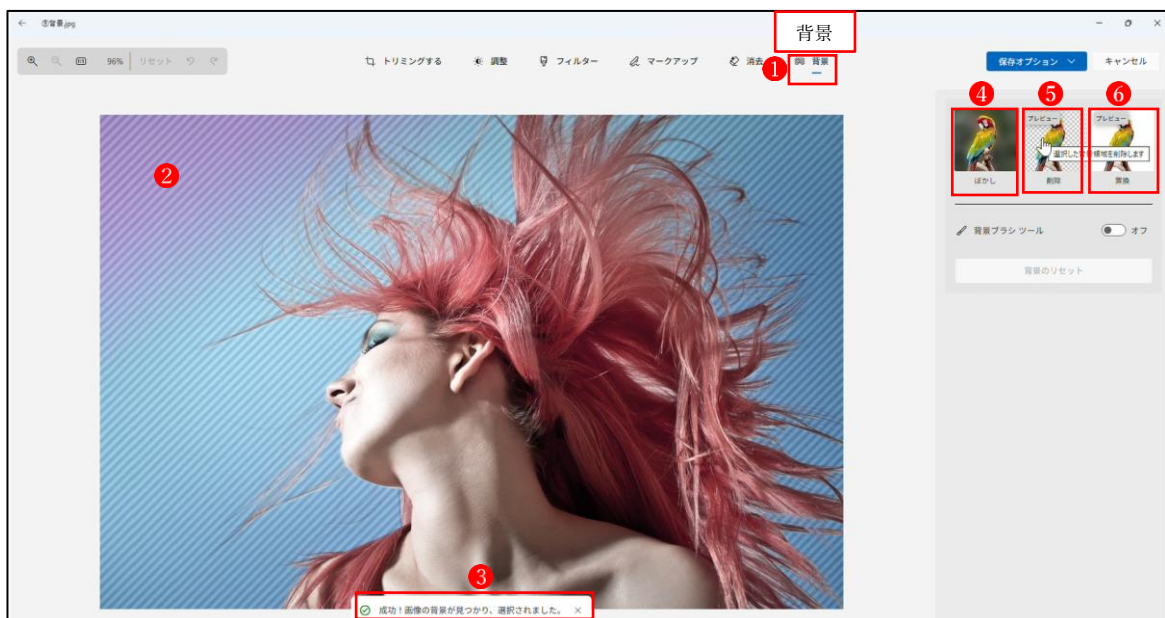


- ① 「生成消去」**①** のボタンをクリックします。
- ② 「生成消去」の機能が表示されます**②**。「自動適用」**③** をオンにして、「ブラシのサイズ」**④** を設定します。
- ③ 画像の消したい部分をブラシで大まかになぞります**⑤**。
- ④ これで、AI が自動で消したい部分を判断して消し去り、さらにその消し去った跡を回りの背景で埋めてくれました**⑥**。



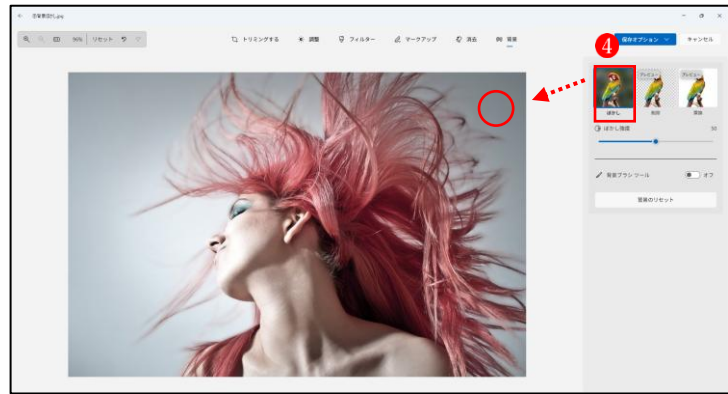
(6) 背景処理 (AI 処理)

「背景処理」**①** 機能を使うと、写真の背景の輪郭を自動で判別して、背景をぼかしたり、背景を削除したり、背景を別の色に置換することができます。

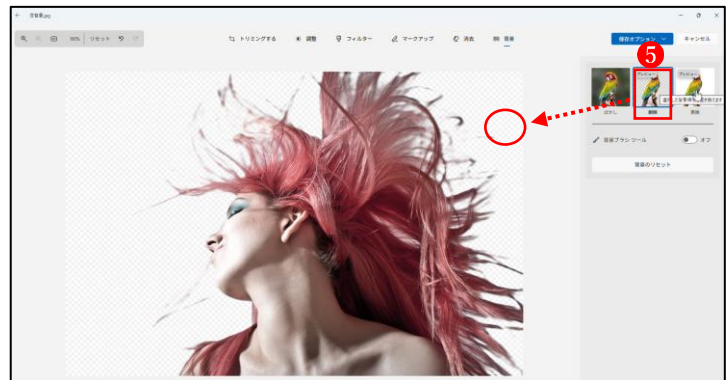


- ① 「背景」ボタン**①**をクリックします。
- ② AI が写真の背景の輪郭を自動で判別し始めます **②**
- ③ 背景輪郭の自動判別が完了すると、「成功！画像の背景が見つかり、選択されました。」**③**のメッセージが表示されます。

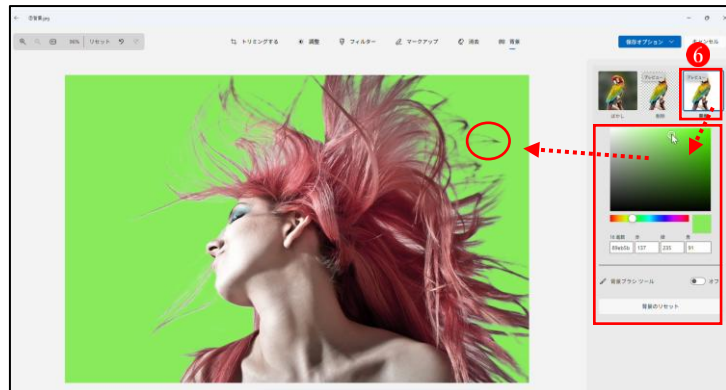
- ④ 「ぼかし」④ をクリックすると、背景が元々あった色で全面にぼかしたように塗りつぶされます。



- ⑤ 「削除」⑤ をクリックすると、背景が削除されて透明になります。



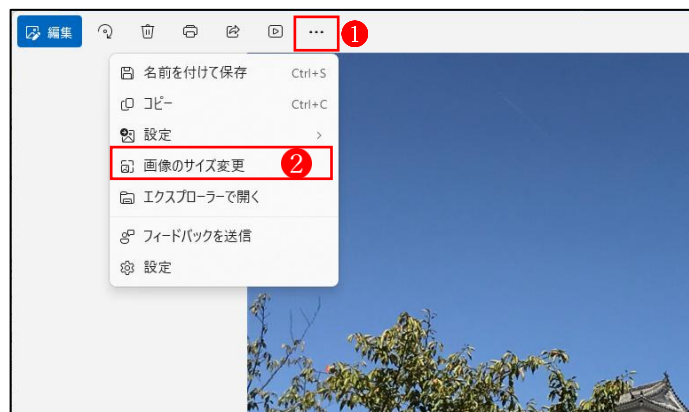
- ⑥ 「置換」⑥ をクリックすると、背景に置き換える色を指定する画面が表示されて、色を指定すると、背景がその色で塗りつぶされます。



4 ファイルサイズの変更

画像のサイズが大きすぎる場合は、ファイルを保存する前に画像サイズを小さく変更してから保存しましょう。

- ① 「…」(もっと見る)① から、「画像のサイズ変更」② をクリックします。



- ② 「サイズ変更」ウィンドウが表示されます。

単位①、幅・高さ②、品質③、ファイルの種類④を設定し、最後に「保存」ボタン⑤をクリックします。

★ これでサイズ変更の完了です。

サイズ変更

☒ ピクセル ① ☐ パーセント

幅 (px) ②
1280

↔

高さ (px)
720

品質: 100% (高) ③

ファイルの種類
JPG ④ ▼

現在: 2560 x1440 ピクセル 1016.3 KB JPG

新規: 1280 x720 ピクセル 649.9 KB JPG

⑤
保存

キャンセル